



みなさんこんにちは!

国民民主党

山形県連です。



公式キャラクター
こくみんうさぎ



10分でだいたいわかる!
「はじめての国民民主党」

「政策本位」で ここ山形から 日本を動かします。

「正直で」「偏らない」
「現実的な」政治を進め、
みなさまに信頼される
政党を目指しています。



山形県連 会長
舟山 康江

私たちは、未来を先取りする
具体的な政策を提案し、
「対決より解決」の姿勢
で日本を動かしていきます。

国会議員1名、地方議員13名
の山形県連です。

小さな政党ではありますが、
皆で力を合わせています。

スローガンは *Make New Answer!*
つくろう、新しい答え。

国民民主党「国民に直接届く」緊急経済対策

- ◆ 国の税収の上振れ分を減税で納税者に直接還元し、可処分所得を増やします。
- ◆ 予備費、教育国債(新規創設)も財源に加え、15兆円以上規模の経済政策を!

生活減税

- ① 所得税減税 (所得税を課す最低金額引き上げ等による「ブラケット・クリープ」対応)
- ② ガソリン減税 (トリガー条項凍結解除、いわゆる「暫定税率」・「二重課税」の廃止)
- ③ 消費税減税 5% (単一税率にすればインボイスは不要に)
- ④ 法人税(投資)減税 (投資額以上の償却を認める「ハイパー償却税制」導入、少額減価償却資産特例の上限額引き上げ)

物価高騰・持続的な 賃上げ対策

- ① ガソリン・電気・ガス・灯油・重油・LPガス等の高騰対策を来年3月まで延長
- ② 賃上げ減税の拡充
- ③ 正社員を採用した事業主の社会保険料負担を半減、低所得者等の社会保険料負担軽減、ゼロゼロ融資の返済負担軽減
- ④ 下請けGメン等の増員・育成、適正な価格転嫁・取引ルールの徹底、「2024年問題」解決に向けた運輸業の規制や商慣行の見直し

子育て・ 人材育成

- ① 子育て・教育政策の所得制限撤廃 (障害児福祉等含む)
- ② 年少扶養控除復活
- ③ 高校までの給食無償化・有機化、ベビーシッター割引券継続
- ④ 企業内配置転換等のリカレント教育・リスクリングへの支援による人材育成強化

カーボン・ニュートラル 等の推進

- ① CEV補助金及び充電・充てんインフラ等導入促進補助金の拡充
- ② 省エネ住宅・家電等の購入及び断熱リフォーム支援
- ③ 原子力発電所再稼働の審査プロセス効率化・合理化、原子力カインバージョン (次世代軽水炉、SMR等) 推進
- ④ 咳止め薬、解熱鎮痛剤、痰切り薬など品薄が続く医薬品の製造流通への重点支援

地方支援

- ① 令和5年6・7月大雨、9月台風13号による被災地の早期の復旧・復興支援拡充
- ② 食の安全保障を踏まえ、農林水産物の飼料・肥料・資材高騰対策及び適正な価格転嫁支援・所得補償
- ③ 福島第一原発処理水に関する風評被害及び中国の禁輸措置への対策として水産業輸出強化及び国内消費促進支援
- ④ 地方への交付金(給付金等への活用含む)の増額

全国一斉ポスティング大会 & 街頭活動in山形

11月4、5日の連日、全国一斉ポスティング大会が開催され山形県連は街頭ポスティング活動を行いました。寒い中、足を止めて手に取っていただいた皆様、ありがとうございました。



山形県連幹事会を開催!

街頭活動終了後、幹事会が開催され、会長より現下の政治情勢について報告がありその後、地方選挙の報告や、これからの活動について確認しました。
尾花沢市議会議員として6期務めあげられました奥山格さんが退任されました。幹事一人一人から心よりの感謝を伝えました。ご尽力頂きありがとうございました。



こくうさ日記



11月7日 (くもり)

お米が大好きなこくうさ!
秋田県大湯村の『ジャパンバックライス秋田』に行ってきたよ!
1日に12万食、年間3600万食のバックライスを従業員、5人×3交代でつくっているんだって。バックライスは輸出も予定しているそうです。山形も負けられない!



11月16日 (晴れ)

今日は天童市の幼稚園のお友達と一緒にほうれん草の収穫を体験したんだ。
こくうさは、ほうれん草もまあまあ好きだからね♥穴掘りも得意だから、みんなに教えてあげたよ!
慣れてきたらみんな夢中で楽しそうに掘っていたよ。ほうれん草の根っこが意外と長くて大変だったな。



国会NEWS!

11月1日の参議院予算委員会において、舟山康江会長が代表質問に立ち、国民民主党が提案している「国民に直接届く」緊急経済対策や、単一税率に戻してインボイス制度を廃止すること、少子化対策、食料安保、人権問題(袴田事件の関連で再審法見直しなど)を中心に質問しました。
中でも、子育て支援に関連し「成人の大人を扶養している時は扶養控除が認められて、小さな子どもの時は認められない。この理屈は何か。」と迫ったのに対し、岸田総理が答えに窮する場面が見られ、扶養控除の見直しについて「1つ1つ議論を進めていく」との回答に留まりました。
また「子ども関係の特別会計の統合により何が変わるのか」と加藤鮎子大臣に鋭く切り込みました。

国民民主党は扶養控除の拡大を提案しています。また教育国債の創設を提案し、子ども達の未来への投資に積極的に動いていきます。対決より解決を目指し、引き続き提案型の政治を進めて参ります。

